

合言葉は

- ①ぼちぼち
- ②そこそこ
- ③できるしこ

最終夜

10月20日

そうは言っても現実はいくら!?  
日頃のモヤモヤ、お焚き上げ!  
NPOのキャンプファイヤー〜

最終夜は、参加者からのお便り（チャット）をご紹介しながら、みんなでコメント。お便りという名の燃料を皆さんから次々投げ入れていただき、燃え続ける炎。BGMは木が燃えはぜる音。

問題解決をするのではなく、みんなでモヤモヤを共有し続ける場、少しお気持ち晴れたでしょうか。

「心が冷えた頃に『追い焚きの場』を」と次回を期待するうれしい声も多数いただいたので、次もあるかも!? 進行は、認定NPO法人アカツキの永田賢介、雪松直子でした。（白神加奈子：アカツキ職員）

もう少し闘う。見切りをつけて別のところへ。など、道はイロイロ。なによりも健康で。しんどくなったら、遠慮なくアカツキへ!

「私だけでない」と思えるのは元気や勇気がでる。そういう場になっていけば、うれしいな。



ミッション

- ・ 時代が変われば、団体の立ち位置も、言葉も変わるよね
- ・ 創業者にとっては、自分の子どもみたいな気持ち?
- ・ 文章が長い!

ボランティア

- ・ やってもらうことが当たり前になってない?
- ・ いやいや、やるっていったじゃん
- ・ ボランティアの自発性と組織の受入れ態勢、そこはNPOの腕のみせどころかも

世代間ギャップ/情報共有

- ・ 重鎮は話を通す順序を大事にして、新しい人は順序がわからない。NPOは柔軟な組織だと思ったのに!
- ・ 年齢の幅、スキルが違う環境での情報共有がとても難しい。メーリングリスト? メッセンジャー?
- ・ ITスキルが違う場合、高いほう・低いほうにどちらに合わせる? 低いほうにあわせると、紙と電話での対応も必須。高いほうにあわせると、仕事が一人に集中!

組織について

- ・ 組織を変えるのには本当にパワーが必要ですね。
- ・ 目指す未来がキラキラしすぎていて・・・。外からの期待は重い。
- ・ 同年代のメンバーが欲しくなる。理事とかに気を遣って疲れちゃいます。。
- ・ 助成金申請のために事業を考えるって意味が分からない

インターンの目!

情報共有に使用するツールが人によって違うという話が出ましたが、私もインターンを始めるまでメッセンジャーやFacebookは使ったことがなかったので共感しました。これから社会に出て様々な職種や年代、立場の方と接する機会が増えると、このような違いに触れる機会も増えるのかなと思いながら話を聞いていました。

また、色々な方のお話を聞けるのも、トーク後の雑談も毎週の楽しみだったので今回でスタートアップが終わりなのはとても寂しいです。

(ひろしー竹本 智尋 - アカツキインターン)



本事業は、完全に自主財源のみで行なっています。QRコードからご寄付をいただくと嬉しいです。

編集・発行：認定NPO法人アカツキ

<https://aka-tsuki.org/>

